最優秀賞

平成27年7月17日（金）　1年A組　学級新聞（一番星）　第　号

一番星

1A

本嶋 日谷大 日17上田田川 行月川野杉小 発ケ

初めての体育祭 ～勝利の行方は??～

タイフーン 五位からの大逆転

5月30日体育祭がおこなわれた。一年A組は、タイフーンで見ごとに一位になった。しかし、A組は練習では最下位だった。その日からA組の猛特訓が始まったのだ。本番当日の朝、委員長の小澤さん人を中心に円陣を組み、みんなの笑顔が最高に達した。そして、迎えたタイフーンの時だ。反則をしないようにルールをしっかり確かめ合っていた。いよいよ競技がはじまった。A組とC組の一位あらそいだった。アンカーにまわり、みんなの応援も熱くなり、アンカーも必死の表情だった。ゴールした一位は、まさかのA組だった。練習の時では考えられない結果だった。みんながガッツポーズや跳びはねて喜んでいた。一瞬で、クラスの団結力は、高まった。みんなが、一丸となり、勝つ気持ちでやれば、勝てるということが、実感できた。このタイフーンでA組には、更に深い絆がうまれたのだ。来年はクラスが、ばらばらになり、みんなで力を合わせて、優勝しよう。

三口葉の大切さ!!

言葉。それは武器でもあって武器ではないと私は思う。なぜなら、言葉は人を傷つける事もできるし、人を救う事もできるからだ。

例えば、「お前うざい。」とまえば、相手は傷つく。「大丈夫、次がんば。」と言えば相手は救われる。このように、言葉には特別な力がある。だからこそ、わたし達が日頃使っているテレビやゲームなどとは違うとこう事を覚えておいてほしい。次に、言葉を使って人を傷つけるのではなく、言葉正しく使って、人を救ってほしいと私は思う。

最後にこう言う事をふまえて、人とかかわってほしいと思う。

TEST 勉強!!

六月四日、大切な行事がやってきたのだ。中間テストだ。さあ、みんなはどんな勉強をしてきたのだろうか。テストに向けてどういうふうにやったらいいのか、自分のいい勉強方法が見つからないなど、各々みんな手探りしているようだ。そこで良いテスト勉強法とは何か考えてみた。なかなか良い方法が浮かんでくる。例えば、英語の単語が覚えずらい時、自分で単語練習帳などを作り、くり返しやると効率がいい。こうして、みんなも工夫してやってみよう。

続いて、クラスで勉強が得意なAにテスト期間中何時間勉強したか聞いた。すると、一日二時間やっていて、テストの前日は、八時間勉強したと言っていた。みんなは何時間勉強していただろうか。ぼくは一日五時間やっていた。夜遅くまでやっていると眠くなってしまう。寝てしまうと、勉強したのが全部消えてしまう。みんなも寝ないように期末テストもがんば。

諦きらめないことの すばらしさ 駅伝大会

過酷な争いが今、始まる。一つになったチームこそが、優勝を勝ちとるのだ。そして、自分のタイム・個人のタイムまでもが出るのだ。走るのが得意な人や苦手な人もいる。それでも自分のベストタイムを目指し、全員が最後まで走りきることができた。チームのために、がんばって、最後の最後までひあきらめないで走った。一位になれるのは一チームだけだけど、僕は思う。最後まで走りきると、走りきった達成感がある。最後は、みんなに、「がんばれ～。」と、応援されるのだ。応援されると心が、ポカポカして来る。だから、最後まで、走ったあなが、すごく良い気持ちになる。そして、みんなにほめられる。みなさんも最後まで走ろう。

捨てられる給食

みなさんは、いつも給食を残さずに食べているだろうか。多分好き嫌いがあって、残す人は少なくはないだろう。残すということは、成長に必要な栄養が不足してしまう。それに、毎日朝から私たちのために給食を作っている人などに申し訳ない。自分のためにみなさんも給食は残さず食べよう！

編集後記

初めて新聞を作った感想は、固ったり、難しかったり、色々とハプニングがあって大変だった。次は、しめ切りをしっかり守り題名を色鮮やかにして、みんなが楽しく新聞を読んでもらえると、うれしいです。